2007年8月期決算説明会

鉄人化計画 (東証マザーズ 2404)



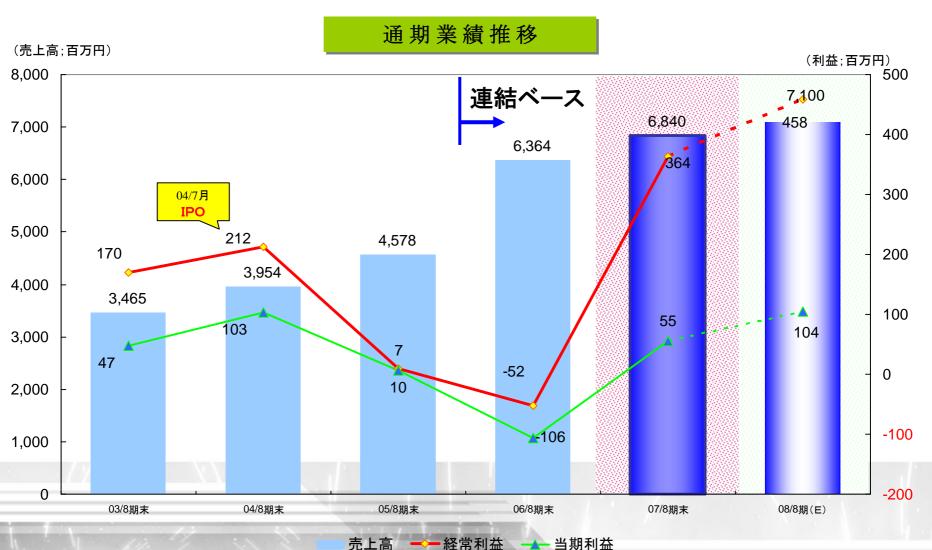
決算概要







~07/8期、>字回復を達成~





07/8期 業績ハイライト

	連結		単体	
(単位:百万円)	金額	前年比	金額	前年比
売上高	6,840	前期比+7.5%	5,860	前期比+7.7%
営業利益	413	前期比+6,971%	389	前期比+5,230%
経常利益	364	(前期 -52 百万円)	360	(前期 -30 百万円)
当期純利益	55	(前期-106百万円)	95	(前期 -81 百万円)
EPS	1,665 円	(前期-3,389円)	2,902円	(前期-2,578円)

ポイント

粗利率 12.6% ⇒ 18.2% 販管比率 12.6% ⇒ 12.2% 営業利益率 0.1% ⇒ 6.0%

連結

当グループの主力事業であるカラオケルーム運営事業の堅調な業績推移と、<mark>販促計画の効率的な実施等による販管費の圧縮等により収益を大幅に改善。</mark>

固定資産除却損52百万円、減損損失88百万円を計上。

中規模店舗の業績が好調で収益を牽引。大型不採算店舗は赤字幅縮小、また仕入コストや、オペレーションコストの見直しにより生産性をアップ。

単体

営業フロアーの縮小・閉店による特別損失138百万円を計上。



バランスシート・CF・設備投資状況

(単位:百万円)

	06/8期	07/8期 進	前年度比 %
流動資産	1,572	1,449	-7.8%
現金•預金	1,060	1,045	-1.5%
受手/売掛金	182	103	-43.1%
たな卸資産	85	74	-12.8%
その他	243	225	-7.1%
固定資産	4,481	4,227	-5.7%
有形固定資産	2,589	2,473	-4.5%
無形固定資産	567	505	-11.0%
投資その他資産	1,323	1,248	-5.7%
資産合計	6,053	5,676	-6.2%
流動負債	1,927	2,453	27.3%
短期•1年以内返済	1,244	1,658	33.3%
買掛金·未払金等	508	549	8.2%
その他	174	244	40.6%
固定負債	2,645	1,683	-36.4%
純資産	1,480	1,539	4.0%
負債•資本合計	6,053	5,676	-6.2%
自己資本比率(%)	24.5%	27.1%	_

- ・M&Aによる、のれん代520百万円(10年償却) 07/8期 のれん償却額52百万円
- ・カラオケ事業の業績回復による フリーキャッシュフローの黒字化(借入返済へ)

(単位:百万円)

(連結)	06/8期	07/8期	増減
営業キャッシュフロー	428	875	446
投資キャッシュフロー	-1,860	-312	1,547
フリーキャッシュフロー	-1,431	562	1,994
財務キャッシュフロー	1,269	-561	-1,830
現金及び現金同等物の期末残	955	956	1

フリーキャッシュフローはプラス転換

【営業キャッシュフロー】 (単位:百万円)

営業活動による純利益220百万円 + 減価償却377百万円 + 減損88百万円

【投資キャッシュフロー】

新規出店による有形固定資産取得312百万円

【財務キャッシュフロー】

借入金返済451百万円(純額)

社債返済110百万円



07/8期 企業集団の状況

- 連結子会社4社
- 事業領域の拡大: 前々期:3事業(カラオケ・ビリヤート / ダーツ・まんが(複合カフェ))
 - → 前期:6事業(既存3事業+音響設備販売、音源販売、フルサービス型珈琲ショップ)

鉄人化計画			
	売上高	経常利益	当期利益
連結	6,840	364	55
単体	5,860	360	95
<u>連結</u> 単体	5,860	360	g

連結調整

(単体)

売上高 -174百万円

営業利益 -427百万円

(売上高・利益 単位:百万円)

フルサービス型珈

100百万円

2006/3月

492

31

琲ショップ運営

(単体)

からふね屋珈琲

100%

事業内容

資本金

買収日

売上高

経営利益

クリエイト・ユー

(単体)

100%

	遊技場・まん
事業内容	が喫茶経営
資本金	20百万円
買収日	2006/3月
売上高	209
経営利益	25

システムプランヘ・ネックス

100%

事業内容	コンピューター周辺機器 のソフト・ハドウェア開発
資本金	10百万円
買収日	2005/9月
売上高	306
経常利益	5

エクセルシア

100%

音源開発·音響□ 事業内容 シテンツ配信 資本金 10百万円 買収日 2005/11月 売上高 146 経常利益 21

連結調整売上-137

当社グループ及び取引先へのコンピューター周辺機器のソフト・ハードの開発・保守。「鉄人システム」「カラ鉄NAVI」を共同開発・製造中。

連結調整売上-37

(単体)

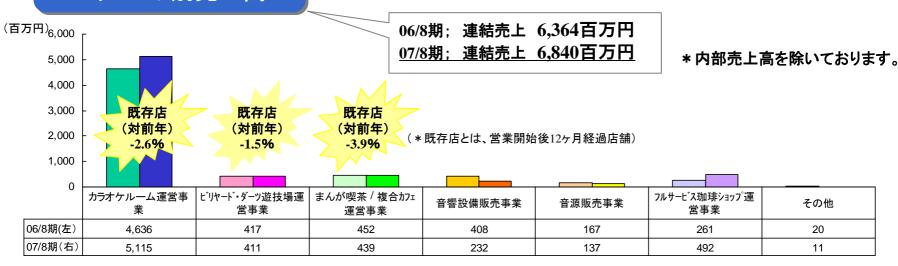
京都市を中心に京阪神地区 に「からふね屋珈琲店」ブラン ドで11店舗を運営

埼玉地区を拠点としたまんが 喫茶(複合カフェ)4店舗を 運営 当社及び取引先への携帯 電話用モバイルコンテンツの開発・制作

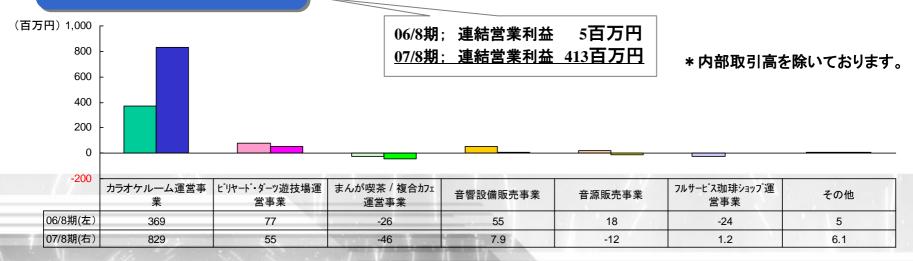


セグメント別売上・営業利益

セグメント別売上高



セグメント別営業利益



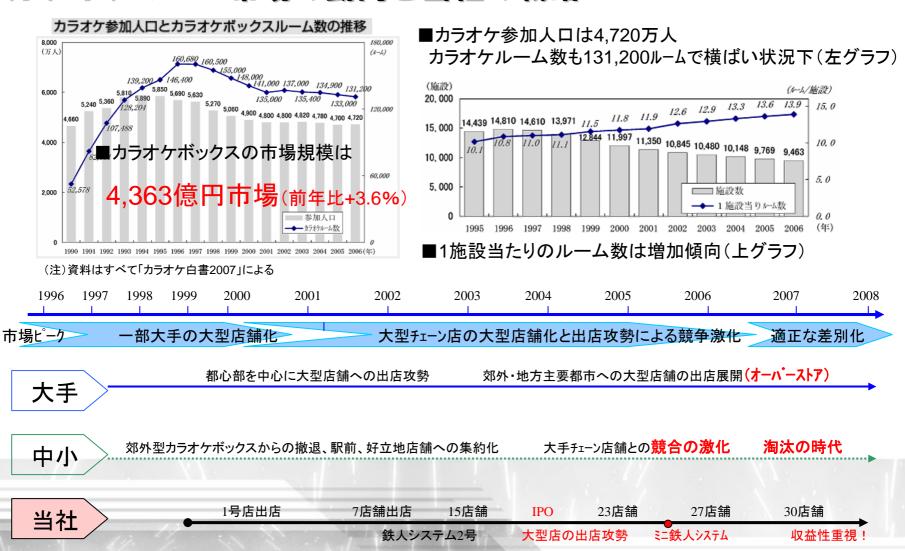
市場分析





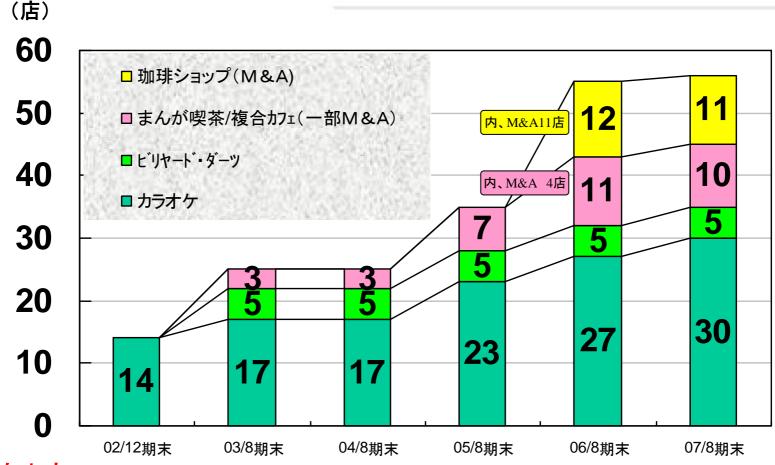
マーケットの変遷【急成長期から成熟期へ】

カラオケルーム市場の動向と当社の戦略





カラオケ事業ならびに他業態出店展開



~独自出店 & M&A~

- ■カラオケ:ミニ鉄人システムの導入により、高収益の中型店舗での出店が可能となった
- ■まんが喫茶/複合カフェ:前々期M&Aにて一挙に拡大、収益性重視による閉店1店舗
- ■珈琲ショップ:前々期M&Aにより取得、収益性重視による閉店1店舗



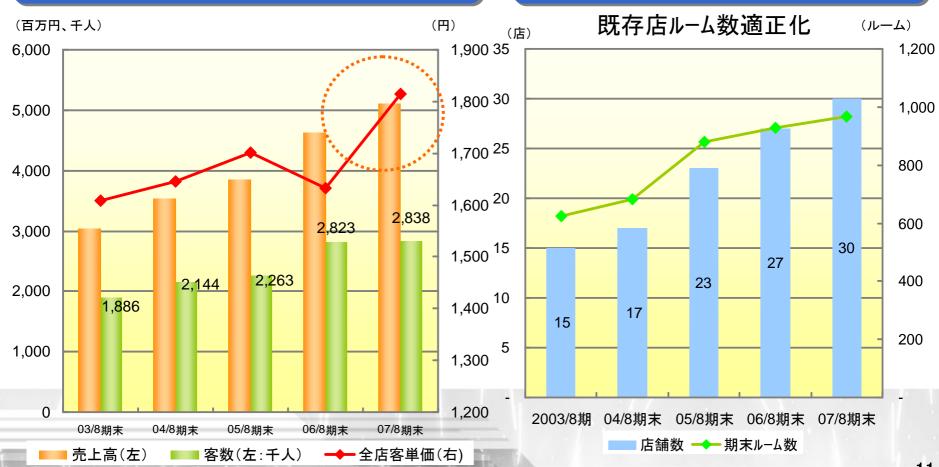
カラオケルーム運営事業成長の軌跡

既存店客単価平均 06/8期 1,639.7円 → 07/8期 1,735.5円(中型店舗の貢献)

全店客単価 1,800.5円(前期比+10.3%)×客数 2,838千人(前期比+0.5%)≒売上5,110百万円前期比+10.9%)

売上高・来客数・客単価の推移(カラオケ事業合計)

店舗数・ルーム数推移(カラオケ事業合計)





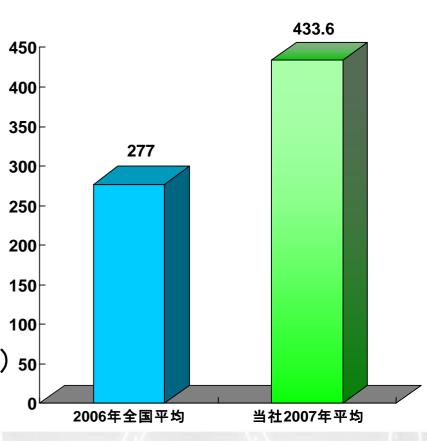
鉄人システムの ルーム当たり売上げ拡大中

1ルーム当たり売上高

カラオケ白書2007; 4,363億円市場

- 全国ルーム数131,200ルーム月間平均売上277千円/ルーム
- 鉄人システムのレンタル
 - 愛媛(松山)に続き、福岡(久留米) のカラオケ店ヘレンタル

ルーム当り月間平均売上(千円)



鉄人システム: 複数機種集中管理方式(各メーカーの楽曲を楽しめる ミニ鉄人システム(20ルーム対応が可能で中小カラオケルームにもレンタル可能)

当期事業戦略



当期重点戦略



- カラオケ事業:高付加価値(中型)店モデルの展開 投下コストを抑え、店舗効率(収益性)の向上
 - ①新規出店;6店舗
 - 中型店はミニ鉄人システムの導入
 - 中型以上店舗は、居酒屋等併設の業態を検討(オペレーションの効率化)
 - ②既存不採算店の撲滅
 - 新宿コマ劇場前店は、月次で黒字化
 - 札幌店の稼働率向上に注力
 - ③財務体質の強化(収益性重視) 新規投資(約7億円)は、営業キャッシュフロー内
 - 売上高総利益率(目標20%)と営業利益率の向上(中期的目標10%以上)
 - 自己資本比率の向上とROEの向上

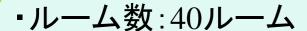


高付加価値(中型)店モデル

従来型(大型)店モデル (鉄人2号モデル)

<u>稼働率向上による</u> ル<u>ーム当たり売上の増加</u>

高付加価値(中型)店モデル (ミニ鉄人モデル)



■オヘ°レーションスタッフ: 5-6名

•初期投資:2億円

•投資回収:3~5年

・黒字化達成:6ヶ月~1年

•ロケーション: 厳選(難)



進化!

・ルーム数:20ルーム

•オペレーションスタッフ:3名

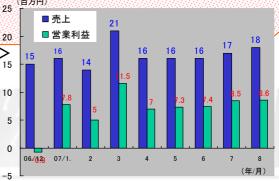
•初期投資:1億円

•投資回収:1~3年

・黒字化達成:2ヶ月程度

・ロケーション: 厳選可

<06/12月出店の中型店ケース> 2ヶ月目で黒字化達成!





TETSUJIN アミュース・メントのシステムインテク・レーターを目指す!

- リアル店舗による店舗オペレーションの展開
- 「鉄人システム」によるシステムインテグレーター(ユーザーに好まれる効率オペ レーションシステムの開発)
- ― 独自コンテンツ開発によるコンテンツインテクレーター

システムインテグレーターであり且つ、リアル店舗とM&Aによる業容拡大!

リアル店舗

カラオケ/ビリヤード・ダーツ/まんが喫茶

M&A

独自コンテンツ

鉄人化計画 コンテンツ・システムインテク・レーター 直営による出店展開

拡大

- ② 独自音源開発
- ③ システム・コンテンツ活用のASP
- ④「ミニ鉄人システム」レンタル

店舗運営管理システム

ミニ鉄人システムレンタル

コンテンツ 融合

システム テクノロシー

16



オンリーワン企業を目指して!



インフラシステム(鉄人システム)

TETSUJIN 株式会社**鉄人化計画**®

当期(08/8期)業績予想

連結

• 売 上 高: 7,100百万円(+3.8%)

• 営業利益: 512百万円(+24.0%)

• 経常 利益: 458百万円(+25.7%)

• 当期 利益: 104百万円(+89.9%)

E P S: 3,163円

単体

• 売上高: 6,167百万円(+5.2%)

営業利益: 462百万円(+18.8%)

• 経常 利益: 415百万円(+15.2%)

• 当期 利益: 122百万円(+27.4%)

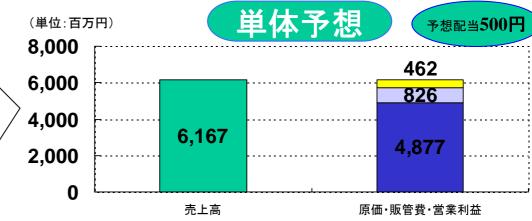
• E P S: 3.698円

前提条件

新店 既存店(対前年比)

カラオケ 6店舗+1%ビリ・ダーツ 0店舗-5%複合カフェ 0店舗-2%

売上総利率 17.7% → 20.9% 販管比率 11.0% → 13.4% 営業利益率 6.7% → 7.5% 投資計画 7億円(新店6店舗+リニューアル)



□営業利益

- □ 販管費(本部運営費コスト+業務委託費+研究開発費)
- ■売上原価(材料費+店舗人件費+賃借料+水道高熱+設備(リース・償却)費+出店費)
- □売上高(各店舗売上+販売部門売上)

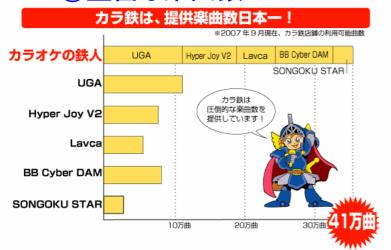
参考資料





コンテンツ・エンターテイメント性の追求

①豊富な楽曲数



②差別化の鉄人システム



③カラ鉄NAVI



4携帯ケーポン



⑤エンターテイメント





カラ鉄NAVI開発状況



実

績

• 無線LANによる端末・POSシステムとのリアルタイムの双方向システム

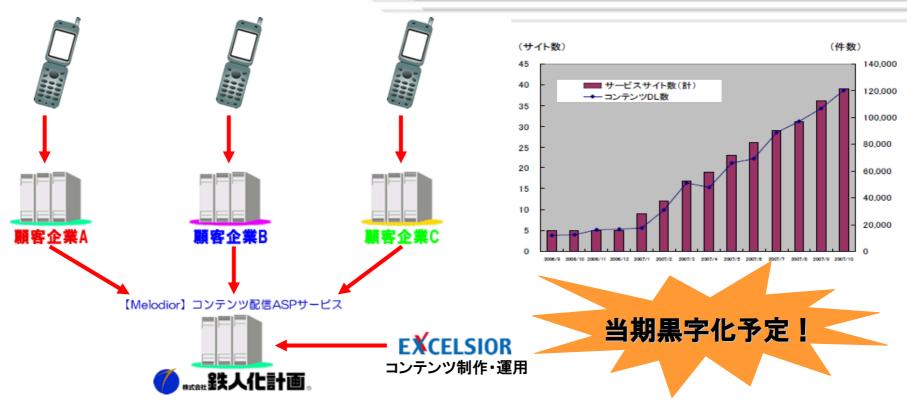
一部店舗で、オリジナル楽曲、社歌、インディーズ曲、 プロモーション曲等を配信

開発中

- 各店舗と本部サーバー間で、ボーカル付楽曲を リアルタイムでダウンロード可能なシステム
- カラ鉄ナビから検索に加えてイントロ再生機能
- インターネット網を通じて全店で会員の歌唱楽曲 や採点、点数等の管理を可能



Melodiorコンテンツ配信ASPサービス



- ・システム、コンテンツは顧客各社共有のため、顧客毎の対応コストが不要。
- -2007年度は顧客数、利用数共に拡大中!
- -2007年9月末現在、契約サイト数50サイト突破、顧客サイト総利用会員数 300万人突破!



からふね屋珈琲の新メニュー





当社グループ店舗



カラオケの鉄人 上大岡店ロビー(カラオケ+ 居酒屋)

サンビリ 荻窪店(ビリヤード・ダーツ)





からふね屋珈琲店 小倉店



会社概要:

東証マザーズ(2404) 2007年8月末現在

社	名	株式会社鉄人化計画 (TETSUJIN Inc.)
記	立	1999年12月14日(2004年7月9日上場)
本社所在	∃地	東京都目黒区(※2004年4月に東京都渋谷区より移転)
資 本	金	732,394,820円(発行済株式数:33,068株)
事 業 内	容	「カラオケの鉄人」を中心としたアミューズメント施設の運営
取 締	役	代表取締役社長 日野 洋一 取締役副社長 荒武 弘美 常務取締役 浦野 敏男 取締役 高橋 等 取締役 星川 正和
従 業 員	数	単体103名(他、アルバイト 905名) 連結126名(他、アルバイト1,140名)
株主構	成	日野 洋一 37.19%、横浜銀行 3.62%、佐藤 幹雄 2.11%、 (株)アトラス 2.05%、安田 隆夫 1.50% (株主数2,504名)



IRのお問合せ

TEL:03-5773-9184 FAX:03-5773-9160

Mail: web-ir@tetsujin.ne.jp

www.tetsujin.ne.jp/

本資料は、2007年8月期決算をもとに企業情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は2007年8月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

